

「田植え前の一瞬」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

高崎市の西の郊外に、倉渕(くらぶち)という地区がある。平成 18 年までは「倉渕村」という独立した自治体だった。山間にもかかわらず水田が多く、まさに「村」にふさわしい里山風景を多く残していた。



田んぼに水が入り、田植え前の一瞬は、周囲の風景が水面に反映してすばらしい。ウキクサもたくさん浮いている。私は車を停めてあちこち歩き回った。



高崎市に編入されてからも、その風景は変わっていない。秋(10月)には、「はさかけ」のある風景も随所で見られ、絵の題材にもこと欠かない。特にこの地蔵堂のある構図を、私は気に入っている。



秋に訪ねた地蔵堂の周囲の田んぼにも、水が張られたところだった。この地蔵堂全体が水面に映るところを写真に撮りたかったのだが、なかなか見つからない。



倉渕を通ると、軽井沢市街地を通らずに、北軽井沢から直接藤岡 IC へ直接抜けられるので、わたしはよく車で通る。今の時期は田んぼに水が入るので、私は教材用の「ウキクサ」を探しに、あの地蔵堂のある地区に立ち寄ってみた。



30分ぐらいカメラを持ってウロウロしていた。農作業をしていた人には、完全に「不審者」に見えただろう。やっと思い通りの構図に出会えた。成田空港の売店にある「JAPAN」という絵はがき集に入りたい構図だ。なかなか満足のいく写真を撮れたのは良いが、肝心のウキクサの採集をすっかり忘れてしまった。



